

## 巻頭言

# 「令和のテクノロジー」

公益社団法人日本防犯設備協会 常任理事  
総合警備保障株式会社 常務執行役員

鈴木 一三



2019年5月1日、平成の時代がおわり「令和」の時代が幕をあけました。

ゴールデンウィークは10連休となり、国を挙げて祝賀ムードに満ちた各種イベントが開催されましたが、そこからはや半年が経とうとしております。一方、私事では、書類への記載やいろいろな挨拶の場面でつい「平成」と間違ってしまうケースがたびたびあり、恥ずかしい限りです。

こうして始まった令和時代ですが、われわれを取り巻くテクノロジーはこの先どう進化していくのでしょうか？

振り返れば、時代とともに、新たなテクノロジーが次々と現れて社会や暮らしを大きく変え、しかもそれらはもの凄いスピードで進化してきました。

昭和の時代に登場したテレビや洗濯機、冷蔵庫は、当初「三種の神器」と言われた驚くほど画期的な生活用品でした。平成に入ると、インターネットや携帯無線などの通信が進化し、情報端末もPCからスマホへと変化するなど、情報通信分野のデジタル化が急速に進展しました。自動車も、電池の進化によりハイブリッド車・電気自動車へとシフトしています。

われわれが取り組む防犯の世界でも、たとえば防犯カメラシステムの性能が驚くほど向上し、いまや犯罪抑止や検挙、証拠保全に欠かせない機器として広く普及しているのは、皆様ご存知のとおりです。

では、令和時代に普及・実現するとされている新技術をいくつかご紹介してみたいと思います。

- 1 5G時代の到来～通信速度が100倍になる
- 2 AI技術の発展～人工知能が人間の知能を超越
- 3 無人運転車両が当たり前となる
- 4 現実とVR（バーチャルリアリティ）の融合
- 5 血管の中を走るナノマシンの登場
- 6 液体金属の変形技術が進展
- 7 コンピューター眼鏡・コンタクトレンズが普及
- 8 空飛ぶ自動車の普及

…いかがでしょうか？

ICTテクノロジーの進展は、ビジネス分野では生産性が向上し労働問題の解決につながります。医療テクノロジーの進歩により、寿命のさらなる延伸も可能になってきますし、無人運転車両、空飛ぶ自動車等が普及すれば、私たちの生活環境そのものが大きく変貌します。

また、AI、バーチャルリアリティ、ロボットをはじめとする新技術の普及で、あらゆる分野においてビジネスモデルが大きな変化を遂げることになると思います。

私自身も時代の波、テクノロジーの進化を早い時期から敏感にキャッチし、それらに対応しうる柔軟な思考をもって、安全安心な社会づくりのために会員の皆様と知恵を出し合い、社会に貢献できるよう活動していきたいと思っています。

とりわけ、来年は2020年東京オリンピック・パラリンピックが開催されます。最高のスポーツの祭典にするために周到に準備を重ね、いよいよ本番を迎えるのです。緊張感も日々高まってきております。災害・テロ等の対策を含め、無事に大会が終わることを祈るとともに、最新テクノロジーを活用した各種警備システム等が大いに活躍し、安全・安心な大会運営を支えることを期待しています。

そして、令和のテクノロジーが、豊かで平和な未来を実現する画期的な神器となることを願います。

